

千葉市は本当にお金がないの？ 市民生活・子どもの安全にこそ予算を

弱者を切りすて、大型開発推進の市政をやめて、市民生活・福祉こそ充実を



新庁舎のイメージ図

市役所庁舎建て替への基本設計で9億円増えて、307億円に。赤字が見込まれ廃止予定であった競輪場の建て替えと千葉公園体育館を新しくするための予算合計が約100億円。莫大な予算を注ぐ大型開発事業の概要が12月議会でも示されました。

党市議団は、市庁舎は耐震改修で当分の間使用することや競輪場を廃止するなど、財政が厳しい下で大型開発に注ぎ込む予算をやめて、福祉にまわせと追及しました。

これが「未来への投資」ですか？

●新庁舎整備	307億円
●新清掃工場建設	約300億円～360億円
●中央公園・通町公園連結強化	約23億円
●稲毛海浜公園リニューアル	約25億円
●千葉公園体育館リニューアルなど	約62億円
●現競輪場の除去と国の用地取得	約33億円
●千葉駅東口再開発など駅周辺整備	25億円
●千葉みなと旅客船第2棧橋整備など	8億円

発達障害支援の予算のために、重度心身障害者の手当を減額？

市は、発達障害などへの支援が急がれているので、重度心身障害者への福祉手当の支給月額7千円から5千円に減額（全体で約2億4千万円）して、その分を支援にまわすことを提案してきました。党市議団は「弱者への支援を削って弱者の福祉にまわす最悪のやり方」と批判し、福祉予算全体を増やすよう求めました。



市長へ2018年度予算要望書を提出

アンケートへのご協力ありがとうございました

日本共産党千葉市議団は、お寄せいただいた数多くのご意見・ご要望・ご提案を一つひとつ吟味し、急を要すると思われる要望、ただちに改善が必要と思われる現場の調査、周辺住民とのご相談が必要な事案などを判断しながら、要望実現のための行動を開始しています。

集約したアンケート結果は、「2018年度予算及び事業計画にあたっての重点要望」「各行政区の要望」として熊谷市長へ提出しました。議会での質問や要求運動などを通じて、実現にむけた取り組みを続けていきます。

意見書・請願への各会派の態度

○=賛成 ×=反対

意見書・請願名	共産党	自民党	民進	未来	公明党	ネット
憲法第9条の改憲をやめるよう求める意見書	提出	×	×	×	×	
消費税率10%に引き上げることをやめるよう求める意見書	提出	×	×	×	×	
核兵器禁止条約を批准するよう求める意見書	提出	×	○		×	
原子力発電所の再稼働中止を求める意見書	提出	×	×	×	×	
普天間基地撤去、辺野古新基地建設の中止を求める意見書	提出	×	×	×	×	
「働き方改革」推進法案の提出をやめるよう求める意見書	提出	×	×	×	×	
千葉市の教育に関する請願	○	×	×	×	×	○

※市民ネットワークおよび無所属議員は、議会運営委員会に委員がないため態度表明はありません。賛成・反対が同じ場合、委員長（自民党）による採決（反対）で、共産党提出の意見書は本会議に上程されませんでした。

編集後記

千葉市の予算編成が大詰めです。市の計画では、「廃止」予定の競輪を一転「存続」させ施設改修その他で100億円、千葉神社の参道整備に23億円、新庁舎建設に307億円、稲毛海浜公園の開発・整備など大型開発がズラリ。市民が「教室にエアコンの設置を」と求めても、「予算には限りがある」「優先順位がある、学校トイレの改修が先だ」と、エアコン設置を拒み続けている千葉市。子どもたちの学習しやすい環境を整えること以上に優先すべきことがあるのか、しっかりと監視が必要です。昨年未の国会では、共産党の畑野君枝衆議院議員が、千葉市でのエアコン設置のための国の補助単価を実際の工事価格に合わせて改善を求め、文科相に「必要な予算額をしっかりと確保したい」と答えさせました。今年も共産党市議団は、国会議員団と連携し、要望実現に向け全力をつくします。

ご意見・ご要望はお気軽にどうぞ



千葉市議会第4回定例会のご報告 日本共産党千葉市議団

市民との共同と提案で、市政を動かす！



ふくなが洋議員 (中央区) 中村きみえ議員 (花見川区) もりた真弓議員 (花見川区) 吉田まさよし議員 (稲毛区) 野本信正議員 (若葉区) かばさわ洋平議員 (緑区) 佐々木ゆうき議員 (美浜区)

千葉市議会の第4回定例会（11月28日～12月14日）が行われました。日本共産党千葉市議団は、市民との共同と提案で市政を動かす先頭に立って奮闘しました。



子どもや妊産婦をはじめ市民の健康のために

受動喫煙防止条例を提案

日本共産党千葉市議団は、受動喫煙を防止するための措置などを定め、市民の健康で快適な生活の維持を図ることを目的とする千葉市受動喫煙防止条例を提案しました。条例案は通学路の喫煙禁止努力義務を設けるなど、厚生労働省が公表する「たばこ白書」でも評価している北海道美唄市の条例を調査研究し作成しました。

他会派から「飲食店における努力義務では不十分で、実効性ある条例が必要」と反対し否決されましたが、市は「実効性ある条例制定が必要と考える」と、条例制定に向けて取り組むことを表明しました。

党市議団は積極的提案で市政を動かしています。

平和首長会議に参加する市長なら 安倍9条改憲NO!の立場に

安倍政権の下での改憲の動きが強まっています。党市議団は国民が改憲を望んでいないことを示し、「憲法9条を守るべきだ」と市長に見解を求めました。しかし、市長は、「改正についてはそれぞれの考えがあり、国民的議論で国民投票により決まるもの」と答え、まるで他人事のように。平和首長会議に名を連ねていながら、総会などに一度も参加したことがない市長です。



憲法は国家権力を縛るものであり、立憲主義の下で、国家権力が自分たちの都合で勝手に憲法を変えてはなりません。そのことを肝に銘じることが必要です。

就学援助 党市議団の要求が実現 入学準備金が3月支給に改善へ

就学援助の中学校1年生の入学準備金にあたる「新入学児童生徒学用品費等（47,400円）」及び「制服調整費（4,000円）」の支給時期を入学後の7月から、3月に変更することが決まりました。

日本共産党千葉市議団は議会質問で繰り返し取り上げ、市民からの請願も賛成し、3月支給への改善を求めてきました。

党市議団は「義務教育は無償」のために、さらなる就学援助の拡充を求めました。



日本共産党千葉市議団
ちば市議会だより

2018年
1・2月号
No.164

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
TEL(245)5484 FAX(245)5585
メールアドレス chibasigidan@nifty.com
ホームページ 「日本共産党千葉市議団」で検索

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

お読み下さい
しんぶん 赤旗
日刊3,497円/日曜版823円